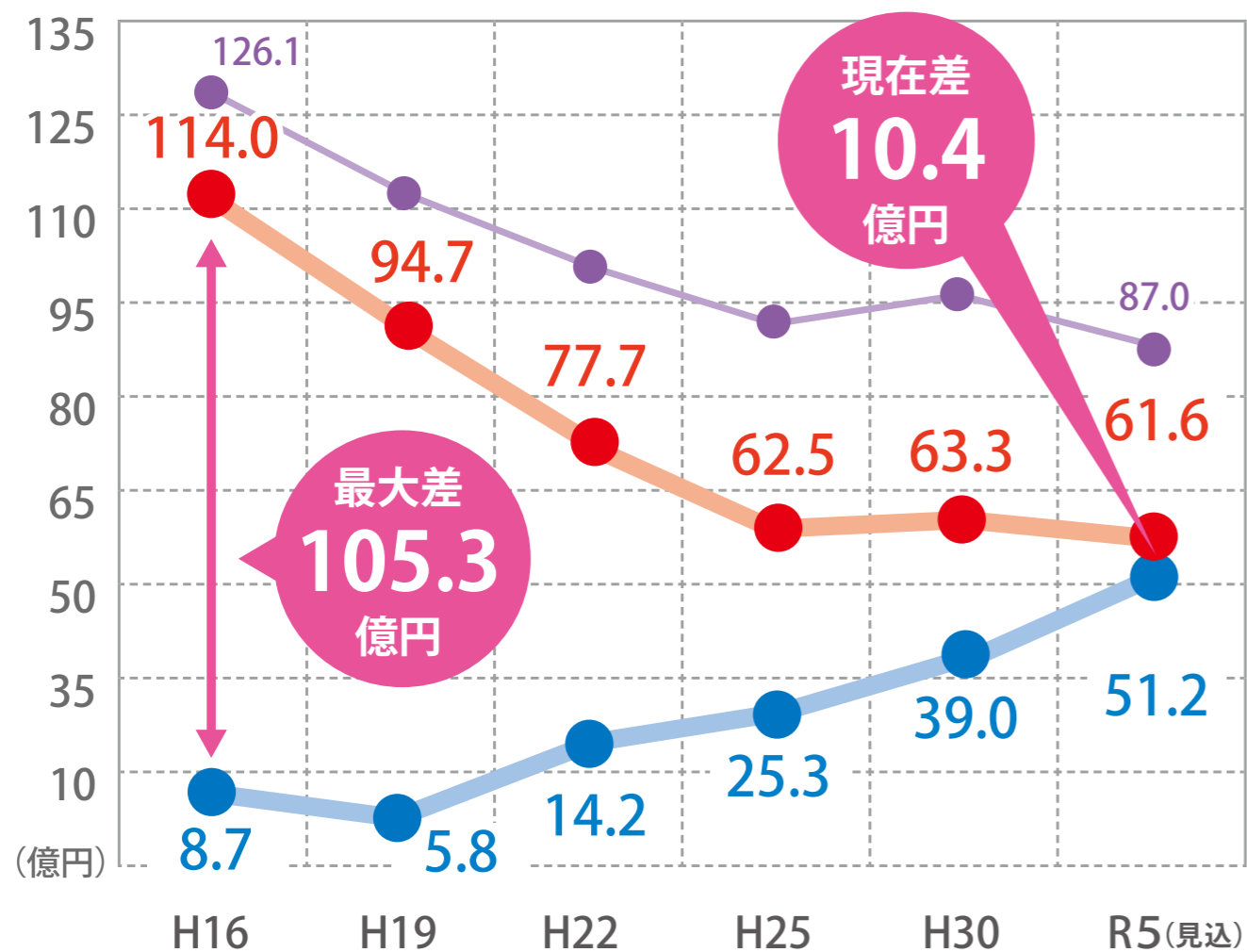




市の財政状況、貯金と借金のこれまで

下記のグラフは、垂水市の財政状況（借金・貯金）を表したものです。貯金は徐々に増加しており、借金は徐々に減少しているため、財政状況は改善傾向にあると言えます。主な要因は、ふるさと納税の増額、垂水市市有施設整備基金の設置、管理および処分に関する条例の制定、人件費の削減、財政改革プログラムによる事務事業の見直し等があげられます。

しかしながら、本市の財政状況は、地方交付税をはじめとする依存財源の割合が大きく、国の状況で財政運営が左右される脆弱な財政構造から脱していないため、今後も弾力的で足腰の強い財政構造を構築し、将来にわたって持続可能な財政基盤の確立を図ってまいります。



- 市債
- 借金 臨時財政対策債を除く市債
- 貯金 財政調整基金やふるさと応援基金などの各基金の合計

※臨時財政対策債は、本来交付されるべき地方交付税の振替として発行されるもので、元利償還金は100%交付税措置されることとなっている。

H16年とR5年を比較

94.9億円
改善

平成16年 105.3億円
令和5年 10.4億円



予算編成の考え方

昨年12月に示された令和6年度の地方財政対策の概要では、社会保障関係費や人件費の増加が見込まれる中、地方団体が、住民のニーズに的確に応えつつ、こども・子育て政策の強化など様々な行政課題に対応し、行政サービスを安定的に提供できるよう、地方交付税等の一般財源総額について、令和5年度を上回る額が確保され、本市の主要財源である地方交付税総額については、令和5年度を上回る18.7兆円（前年比+0.3兆円）が確保される見込みとなっております。

以上のような国の予算の状況を踏まえ、各事業の成果に重点をおいて、予算の質を高めることで財政運営の健全化を図りつつ、子育て支援や高齢者支援、市民の安心安全に係るインフラ整備、産業振興・経済活性化、デジタルを活用した市民幸福度の上昇等に関連する事業費を優先して、本市の令和6年度の予算を編成いたしました。



予算規模

総予算規模 ※一般会計に特別会計、事業会計を加えた総額

187億2,742万5千円

◎内訳

会計名	令和6年度予算額	令和5年度予算額	増減額	増減率	
一般会計	119億8,000万円	113億4,200万円	6億3,800万円	5.6%	
特別会計	国民健康保険特別会計	24億5,688万2千円	23億8,974万7千円	6,713万5千円	2.8%
	後期高齢者医療特別会計	2億9,166万3千円	2億6,652万6千円	2,513万7千円	9.4%
	交通災害共済特別会計	525万1千円	484万6千円	40万5千円	8.4%
	介護保険特別会計	22億4,669万円	23億327万9千円	▲5,658万9千円	▲2.5%
	老人保健施設特別会計	6億6,272万4千円	6億4,928万8千円	1,343万6千円	2.1%
	漁業集落排水処理施設特別会計	令和6年度から事業会計に移行	4,031万4千円	—	皆減
	地方卸売市場特別会計	268万5千円	261万7千円	6万8千円	2.6%
	小計	56億6,589万5千円	56億5,661万7千円	927万8千円	0.2%
事業会計	水道事業会計	4億6,457万1千円	4億6,264万3千円	192万8千円	0.4%
	病院事業会計	5億6,226万5千円	5億7,901万8千円	▲1,675万3千円	▲2.9%
	漁業集落排水処理施設事業会計	5,469万4千円	—	—	皆増
合計	187億2,742万5千円	180億4,027万8千円	6億8,714万7千円	3.8%	